

令和6年6月28日
物流・自動車局旅客課

日本版ライドシェアで雨天時のタクシー不足の解消を目指します！ ～日本版ライドシェアのバージョンアップの実施について～

本年4月にスタートした日本版ライドシェアについて、雨天によるタクシー利用者の増加に対応できるよう7月1日（月）からバージョンアップします。

配車アプリデータを踏まえ、1時間5mm以上の降水量が予報される時間帯に日本版ライドシェアの車両を使用可能とすることで、雨天時の移動の足不足の解消を目指します。

国土交通省では、本年4月、地域の自家用車や一般ドライバーがタクシー事業者の管理の下で安心・安全な運送サービスを有償で提供することを可能とする制度（日本版ライドシェア）がスタートしました。現在では、全15地域で運行が開始し、32地域において検討中であるほか、マッチング率も昨年度の数値と比較し概ね改善するなど、順調に取り組みが進んでいるところです。

一方、日本版ライドシェアの運用を開始して以降、雨天時においては移動需要が大きくなる傾向が確認されました。

このため、日本版ライドシェアをバージョンアップし、7月1日（月）から、1時間5mm以上の降水量が予報される場合は、これまで日本版ライドシェアの使用ができなかった時間帯においては使用することを可能とするとともに、これまでも日本版ライドシェアの使用が可能であった時間帯においては、使用可能な車両を増やすこととします。

これにより、雨天時の移動の足不足を解消することを目指します。

【対象地域】

以下の都市及びその周辺のエリア

東京都特別区、横浜市・川崎市、名古屋市、京都市、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、大阪市、神戸市、広島市、福岡市

※他の地域については今後検討

<添付資料>

- ・（別紙）日本版ライドシェアの雨天時に対応したバージョンアップ

【問い合わせ先】

物流・自動車局 旅客課 手嶋、武藤、大山

電話：(03) 5253-8111（内線：41202、41243）

直通：(03) 5253-8569